

Hand - in - Hand

江南市立布袋北小学校

No.4

10月13日

☆『あいさつ運動』☆

江南市では毎月10日に全校区で「あいさつ運動」に取り組んでいます。10月11日（火）は本校でも、市の教育委員会から教育部長の三ツ口和男さん、本校PTAの関係のみなさん、更生保護女性会のみなさん、民生委員のみなさん、少年補導委員のみなさん、布袋中学校生のボランティアのみなさん、本校職員など多くの方々の参加で「あいさつ運動」が行われました。布袋北小学校の標語は「すてきだね あいさつ飛び交う 僕らの学校」です。子どもたちは、大きな声であいさつができるようになってきました。にこにこしている表情が印象的です。これも保護者のみなさん、地域の方々に温かく支えられているからだと思えます。大切にされている子どもたちの自己肯定感は高くなるといわれています。これからもよろしくお願いします。



☆『インタープリターと歩く森のツアー』☆

11日（火）の3・4時間目に、「愛 地球博公園 NPO 法人もりの学舎自然学校」から3名のインタープリターの方に来校していただき、4年生が「インタープリターと歩く森のツアー」を行いました。インタープリターとは「人間と自然の通訳者」という意味です。1組は「りーさん」、2組は「まっちゃん」、3組は「ベルさん」が担当をしました。まず、3時間目に万華鏡づくりをしました。4時間目はその万華鏡を持って中庭・水田付近・体育館前に分かれて「小さな秋を見つけよう」をしました。子どもたちは、それぞれに花や葉を万華鏡の中に入れて、興味深く「秋」を覗いていました。お互い一緒に草花を摘んだり、万華鏡を交換したりしました。その中で「他者を受け入れる力」や「コミュニケーション力」がついていくといいなと思えました。最後に、学級ごとに円く輪になって、回しながら全員の万華鏡を見ました。「すっげー」「ちょーきれい」等の歓声が上がりました。

